

諸般の報告・その他の関係

○委員長 (小路正和君) 次に、諸般の報告・その他について御質問がありましたら御発言願います。

宇野委員。

○宇野 裕委員 質問する前に、先ほどの予算の関係で西田委員が発言したことと少し関連するんですが、予算についての少し要望をさせていただきたいと思います。部長の挨拶の中で、投資的経費 9.4%増、その中で特に県単については 41%対前年比で伸びてるということで、大変心強く思っているところでございます。30 年度はそういう流れができる、元年というふうに思っているんですが、来年度以降もこの流れを継続をしていただきたい。30 年度だけ伸ばせばいいってことではなくて、今までずっと曇りがちだった予算も、少しずつ晴れ間が見えてくるように思っておりますので、31 年、32 年と継続をして、この流れをつくっていただきたいと、これは要望でございます。

それでは、質問に入らせていただきたいと思います。道路問題について 4 点、海岸津波対策について 1 点お伺いをしたいと思います。

まず、何度かこの問題についてはお聞きしてるわけでございますけども、銚子連絡道についてであります。この道路は圏央道の松尾横芝インターチェンジから横芝光インターチェンジまでの 6 キロメートルが 1 期区間として供用しており、現在、2 期区間として横芝光インターチェンジから私の地元の匝瑳市に至る 5 キロメートルの整備が進められております。前回の 12 月常任委員会において、昨年度末にようやく事業に対する理解が得られた匝瑳市時曾根地区と笹曾根地区においては、今年度内に用地取得に着手する予定との御答弁をいただきました。このような中、先ほど来お話が出ておりました昨年 12 月に国から圏央道の大栄—横芝間が用地取得が順調に進んだ場合、平成 36 年度供用見込みとの発表がありました。この発表を受けて、地元の皆さんから、圏央道に接続している銚子連絡道路の一日も早い完成を望む声が一段と高まっております。そのためには、2 期区間の早期完成と同時に、本道路の未事業化区間であります匝瑳市から旭市に至る約 12 キロメートル区間の早期事業着手が必要です。平成 30 年度予算では、ついに匝瑳市から旭市までの区間の関連調査に必要な予算が計上され、今後の展開に大変期待をしているところであります。

そこでお伺いいたします。第 1 点として、銚子連絡道路 2 期区間の進捗状況と今後の見通しはどうか。

第 2 点といたしまして、銚子連絡道路の匝瑳市から旭市までの 12 キロメートル区

間に計上した予算の内容と今後の見通しはどうか。

道路問題の3点目ではありますが、県道飯岡片貝線、匝瑳市長谷地先周辺のバイパス整備についてであります。本道路は国道126号線と九十九里海岸に並行して走り、旭市方面と横芝光町方面を結ぶ大変重要な道路であります。しかしながら、長谷地先周辺においては、道路が屈曲しながら家屋密集地を通過するため見通しが悪く、円滑な交通に支障を来しているところでもあります。また、この県道は共興小学校の通学路にもなっておりますが、幅員も狭く歩道も整備されていないことから、歩行者の安全確保が問題となっているところでもあります。

そこでお伺いいたします。県道飯岡片貝線長谷バイパスの進捗状況はどうか。

道路問題の4点目ではありますが、圏央道と成田空港を結ぶ規格の高い道路についてであります。この問題については、昨年9月、当委員会において圏央道と空港南側を結ぶ規格の高い道路の検討状況について質問させていただきました。この道路は圏央道と成田空港を有機的に結びつけ、成田空港のさらなる機能強化による波及効果を空港周辺地域のみならず、圏央道を通じて県内外へ波及させるため、必要不可欠の道路であります。

そこでお伺いいたします。圏央道と成田空港を結ぶ規格の高い道路の検討状況はどうか。

最後ではありますが、東日本大震災の発生から間もなく7年目となるわけであります。この間、県では九十九里沿岸における津波対策に取り組み、新川、栗山川及び木戸川の3河川や九十九里有料道路の堤防かさ上げ工事が完了するなど、事業の進捗が図られております。復興・創生期間事業も終盤を迎える中、匝瑳市域における安全・安心を確保するためにも、対策工事を望む声が地元から多く寄せられているところであります。

そこでお伺いをいたします。匝瑳市域における海岸津波対策工事の進捗と今後の予定はどうか。

以上、よろしく願いいたします。

○委員長（小路正和君） 北岡道路計画課長。

○説明者（北岡道路計画課長） 私のほうからは道路の1番目と4番目の質問についてお答えさせていただきます。

銚子連絡道路の匝瑳―旭市間の予算の内容と今後の見通しということでございますけれども、圏央道の整備効果を東総地域へ広く波及させるためには、銚子連絡道路約30キロメートルの全線の早期開通が重要であることから、匝瑳市から旭市までの

約 12 キロメートルの未事業化区間の早期事業化が必要であると考えております。このため、事業化に必要な調査・設計を進めるため、平成 30 年度は新たに環境調査などに必要な予算を計上したところであり、順次調査を進め、早期事業化を目指してまいります。

引き続きまして、圏央道と成田空港を結ぶ規格の高い道路の検討状況でございます。圏央道と空港を結ぶ規格の高い道路につきましては、現在、成田空港のさらなる機能強化に伴う国道などの既存道路のつけかえ計画の検討とあわせて、成田国際空港株式会社と検討を進めてるところでございます。成田国際空港株式会社と緊密に連携しながら、計画の具体化に向け、引き続き検討してまいります。

2 番目と 4 番目ということで失礼いたしました。

○委員長（小路正和君） 相澤道路整備課長。

○委員長（小路正和君） 岩船河川整備課長。

○説明者（岩船河川整備課長） 私のほうからは海岸津波対策の工事の進捗と今後の予定についてお答えいたします。

匝瑳市域の海岸津波対策工事につきましては、野手海岸におきまして堤防のかさ上げ工事を 3.0 キロメートル予定しております。また、普通河川の開口部対策として、工事箇所を 3 カ所予定してるところでございます。このうち平成 30 年 1 月現在で堤防のかさ上げ工事は 0.7 キロメートルが完了してるところでございます。平成 30 年度につきましては、この堤防の高さの確保を図るため、残り 2.3 キロメートルの堤防かさ上げ工事を実施しまして、あわせて開口部の対策工事 1 カ所を実施する予定でございます。引き続き地域の安全・安心を確保できますよう、津波対策の推進に努めてまいりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上でございます。

○委員長（小路正和君） 宇野委員。

○宇野 裕委員 ありがとうございます。心強いいろいろな御答弁をいただきました。要望させていただきたいと思ひます。

銚子連絡道についての要望であります、まずは。これについて、匝瑳市から旭市までの区間については新たに取り組んでいただけるということで、本当に旭市方面、銚子方面の方にも朗報ではないかなと思っております。この区間については、2期区間の35年までの完成を待つことなく事業着手できるように、今年度予算をつけていただいたということでございますけども、着実に環境調査を進めていただくとともに、新規事業化に当たっては、匝瑳市から旭市まで12キロメートルあるわけでございますけども、これを6キロ、6キロで分けるようなことなく、12キロメートルを一気に進めていただくように、これは強く要望したいと思います。

それから、規格の高い道路についてでありますけども、この道路につきましては、空港周辺自治体からもさらなる機能強化に伴う地域振興の観点から要望が出てると聞いております。空港のさらなる機能強化と整合を図りつつ、関係機関と検討を進めていただきたいと思います。

最後の要望でございますけども、かさ上げ工事と河川の開口部対策工事について、大変心強い期待の持てる御答弁をいただきました。感謝をしたいと思います。そこで要望であります、せつかく予算をつけていただいた予算が繰り越さないように、工事発注前の準備作業については万全の体制で臨めるように、出先機関に対して県土整備部を挙げて応援体制をしいていただくように強く要望をいたします。

以上で私の質問を終わります。ありがとうございました。